

メンバーの皆さん こんにちは。
『ろくな者じゃの会』です。

5月に入って早朝のウォーキングで目に付き出したのは、比較的若い人たちのホームレスの急増です。職を切られた労働者が野宿をせざるを得ない状況です。10数年前のホームレスも構図は同じです。この国は一体何をしているのでしょうかね。ホームレス状態をなくする事はそんなに難しいことではないと思います。やらない、やれないだけではないでしょうか。まったく腹立たしい限りです。

今日の気温は30度を越えたとか。暑い日でした。

皆さん体調の管理は大丈夫ですか。

私は、声が嘎れ喉の調子が変わったので、喉頭ガンかと思い耳鼻科に行ってきました。副鼻腔が軽いアレルギー炎症を起こしているとのこと。ガンでなくほっとしてタバコをすいました。ダメですねえ。

3日の「大原神社例祭」の参加者は、13人と少な目でしたが有意義に楽しむことができました。W崎先生、下見までしていただいて、ご苦労様。ありがとうございました。

さて、お知らせと報告です。

幻の「山背(やましる)古道」を歩く

「山辺の道」の北部から山城に延びていたであろう古代の道「幻の山背古道」を探索します。木津川沿いに南山城の山裾を縫うようにすすむ小道。古墳や古い町並みや懐かしい風景に出会えます。

寺田(城陽)から平城京跡までですが、行ける所までとします。

初夏の気持ちのよい風に吹かれて歩きませんか。

山背古道は城陽市から井手町、山城町を経て木津町へと続く、南山城地方の古くからの道の一つ。周辺には遺跡や文化財をはじめ、豊かな自然が広がり、道をたどると悠久の時の流れを旅するような、そんな不思議な感じがするコースです。詳しくは添付ファイルをご覧ください。

今回の打ち上げは、あの有名な奇跡の居酒屋「なんどき屋」さんです。

限定10名でやっと予約が取れました。呑み放題お任せメニューで2300円。

たった2300円でたらふく飲み食いできる、安くて、旨い、B級グルメの究極店

打ち上げ参加者は先着順25日までに、北出に連絡ください。

山背古道：http://www.yamashiro-kodo.gr.jp/contents/kodo_f.html

紀行ブログ：<http://www1.kcn.ne.jp/~adachit/sub1123.html>

奇跡の居酒屋「なんどき屋」：<http://bkyugourmet.ojaru.jp/nandokiya.html>

日時：5月30日(土)小雨決行。台風でも打ち上げは決行。

集合：近鉄「鶴橋」駅 奈良線ホーム 8時集合

鶴橋 08:10(奈良線快速急行) 西大寺乗換 新田辺乗換 寺田着 09:01

上記車両に乗車のこと。

コース：近鉄寺田駅 JR城陽 水度神社 鴻の巣展望 森山遺跡 中天満神社
橘諸兄別荘跡 蟹満寺 春日神社 椿井大塚山古墳 松尾神社 高麗寺
跡 泉橋寺 小野小町塚 泉大橋 木津 JR平城山 磐之媛命陵 宇和
奈辺陵 平城宮跡 近鉄大和西大寺駅

持ち物：ハイキングの服装足回り、お弁当、飲み物、雨具、着替え。

参加連絡は北出まで。

柳生街道の報告

4月18日(土)天気快晴極めて爽やか。

鶴橋駅7時38分発急行奈良行きに乗り込んだのは、K池さん、M岡さん、N口さん、W崎先生、T川女史、A久さん、I女史と犬の華子、奈良のバス停で待っていたのは、人間の華子嬢、Y谷女史、W辺女史、H田さん。一電車遅れたと連絡のあった韓国の留学生のK女史なかなか現れない。バスの到着が2分遅れたのでやっと間に合い乗り込むことに。

なだらかな山間を揺られること50分ほどで柳生の里に降り立つ。

里の駐在さんに記念撮影のシッターを押してもらおう。

都会と違って親切な人懐っこいおまわりさんでした。

家老屋敷は、見事な石組み白壁の塀。の下で野菜の無人販売。早速買い物ツアーに変身したご一行さんは、筍などを購入。大きな筍200円なりの格安。軟らかくて美味しい筍でした。

家老屋敷をあとに、芳徳寺へ。

上り坂に弱い面々、芳徳寺の柳生一族の墓をパスする。後日(次週)この場所で西淀川の不明女児の遺体が発見されたとのこと。母親と義父が関与した痛々しい事件でした。合掌。

細い山道が下ったり登ったり。疤痕地蔵がある。鎌倉時代の作とのこと。

峠を下ると大柳生の里が見えてくる。

のどかで豊かな里のたたずまいは、時間がゆったりと流れ里人の生活を潤しているようだ。

犬の華子は土の道と若葉の香りがうれしいのか跳ね回っている。人間の華子嬢も「キャンキャン」叫んでいる。真面目がジャンパーを着たようなH田さん、黙々と歩いている。

「お藤の井戸」を曲がると、南明寺、鎌倉中期の重文。先を急ぐ。

民家の裏山から筍が転がり落ちてきた。斜面に家の人々が筍を掘っている。見上げていたらもって行けという。K池さんさっそく「ありがとう」と取りに行く。

ポチポチお腹が空いてきたご一行さん、昼食場所を物色しだす。

峠を少し下った沢陰にシートを敷いて、いざ昼食宴会。

少ないアルコールを分け合って乾杯。弁当も分け合って何とか満足したようだ。

W崎先生、調子が悪いのか吞まない。代わりに華子嬢、焼酎をぐびぐび。

今回の昼食宴会、早々に切り上げ先を急ぐ。

下りきったところが、円成寺。ここから後半戦。W崎先生リタイヤ、バスで帰ることに。

庭園をぐるっと回ったところで、産直野菜の販売をしていた。またもや買出し軍団に化した面々。

お店の人に「ゴミを置いて行って良いか」と強引にY谷女史。笑顔を引きつらせながら「いいですよ」とお店の人。

これはどうして食べるのかとか、あーじゃこーじゃと云いながら、タラの芽やコシアブラの芽、漬物や山菜を購入。華子嬢、打ち上げのお店で天麩羅にして貰らう腹積もり。

ここからしばらく登り道。

新茶の無人販売所が何箇所も。軽いので購入する。

茶畑の中に大きな地蔵さんを右手に見て、道は下り坂に。

集落を抜け、地獄谷との分岐を山際の道をとる。

道なりに首切り地蔵、滝坂三体磨崖地蔵、朝日観音と続き、特に西日を浴びた夕日観音は神々しく輝いていた。

下り道をトットと軽快に下りきったところは、春日大社につながる原生林の小道。

春日大社、飛火野、興福寺をへて近鉄奈良駅に。

T川女史、奈良漬を買いにここでお別れ。

N口さん、A久さんいつの間にか消えた。

W辺女史布施で下車。

打ち上げをK女史の行きつけの玉造の焼き肉屋に行くことに。

K女史、K池さん、M岡さん、I女史と犬の華子、人間の華子嬢、私の6人。

玉造の駅から玉津の交差点に向かう。

後ろから自転車に乗ったおばはんが、ベルを鳴らしながら追い抜きざまに「あんた等端に寄れ」という。

ぶち切れたI女史「歩行者優先や、自転車を降りて押さんかえ！」

おばはんも負けてませんな「通られへんがな、道はみんなのものや」

おばはんの連れ合いも参加して「ぶつくさ、ぶつくさ」。M岡さん防御の体制。

I女史「道路交通法知らんのか。勉強せえ！」。K池さん他人の顔。

ちなみに道交法には「自転車が歩道を通行する場合は、車道寄りの部分を徐行しなければなりません。また、歩行者の通行を妨げるような場合は一時停止しなければなりません。」とあります。

I女史の勝ち。

玉津の交差点から北東に入った所にある、ネイティブのアジュマがやっている焼き肉屋さん。

焼き肉を注文し、ビールで乾杯。一通り飲み食いをしてK女史、買ってきた山菜の天麩羅してくれるか交渉。

私しゃ、ようせんとのこと。

仕方がないので私が、奥方に見よう見まねで揚げることに相成る。

店の台所を借りて、アジュマに嫌がられながら油じゃ、小麦粉じゃ、塩じゃ卵じゃと勝手に散らかしながら天麩羅を。客が次々入ってくる。アジュマの目が怖い。

熱々は誰がやっても美味しいもの。アジュマにも召し上がっていただきました。

好評のうち、タラの芽、コシアブラの芽全部平らげ、マッコリ、ビールがすすむ。

ワアワアガヤガヤ。玉造の夜が更け行く。

酔い覚ましに鶴橋まで歩いて解散と相成る。

ではでは、皆さんにお目にかかれるのを楽しみにしています。

近況メールも楽しみにお待ちしております。

『ろくな者じゃの会』代表世話人 北出裕士 拝